



はじめに

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大規模となる平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震が発生し、各地を激しい揺れが襲いました。そして、この地震により生じた高い津波は、東北地方の太平洋沿岸を始めとする広い地域を襲うとともに、原子力発電所における事故等を引き起こしました。

本震災の影響は、全国に波及しました。特に岩手・宮城・福島 の 3 県では、多数の死者・行方不明者の発生、建物の流失など、正に壊滅的な被害が生じました。また、原子力発電所における事故の影響は長期間に及び、震災発生から 1 年が経過した現在も、多くの方々が避難生活を余儀なくされています。

ここに改めて、本震災により犠牲になられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、被災地の 1 日も早い復興を願うばかりです。

警察では、震災の発生以来、被災県警察を中心に、全国警察から多くの部隊を派遣して全国警察一体となった体制を確保し、厳しい環境の中で、被災者の避難誘導や救出救助、行方不明者の捜索、各種の交通対策、検視・身元確認、原子力災害への対応、被災地における安全・安心の確保といった幅広い活動に取り組んできました。

この「東日本大震災と警察」を通じて、警察の災害対策について御理解をいただくとともに、自然災害への備えについて考えていただく契機となれば幸いです。